

職場問題を解決しよう！シリーズ 21

不当配転・運転士職剥奪を絶対に許さない！

「命令と服従」の労務管理粉碎！

職場復帰を勝ち取るまで闘うぞ！

名古屋地本、「不当配転を粉碎する8.23抗議集会」開催

8月23日、名古屋地本は、「中山喜弘さんの不当配転を粉碎する8.23抗議集会」を開催し、不当配転に断固闘うことを全組合員で意思統一しました。

中山さんは、7月17日以降、ワンマン列車に乗務中「左側のドアスイッチを右手で扱った」との理由で長期「日勤教育」が課せられてきました。会社は、この「日勤教育」の期間中「基本動作の変更は安全上問題がある」と指摘していた中山さんに、変更の合理性を全く説明せず、中部運輸局には「嘘の回答」を行い、労働組合からの申し入れにも回答しませんでした。「運転士失格」の烙印を押し、職場から放逐するためにのみ、今回の「日勤教育」が実施されたのです。

それほどまで、中山さんを職場から放逐したい理由は、加藤誠二さんに対する不当解雇撤回をストライキで闘った名古屋地本への報復であり、組織破壊を狙った攻撃でもあります。

中山さんが、今まで一度たりとも指導されたことがなかった基本動作を指摘されたのは7月17日です。まさに、加藤誠二さんの解雇撤回と美世志会不当判決に抗議し、全国統一行動が展開されているその時に「狙い撃ち」したのです。地本執行委員でもある中山さんを狙った組織破壊の一環としてかけられた攻撃なのです。

私たちは、理不尽な基本動作変更、ストライキへの報復を許さず、あらゆる不当弾圧をはねのけ、中山喜弘さんの不当配転撤回、加藤誠二さんの解雇撤回に向け断固闘い抜きます！

ストライキで闘った名古屋地本への報復だ！

安全無視の基本動作強要、

いわれなき日勤教育は許さない！



決意表明する中山喜弘さん